

令和7年9月12日

開進三中だより

< 第5号 >

—◆たぐましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人— 練馬区立開進第三中学校

〇〇の秋

校長 堀 健一

長い夏休みが終わりました。今年も酷暑が続きましたが、2学期を迎え、生徒の皆さんの笑顔が戻ってきたことを嬉しく思います。

今月は、全校で教育相談週間がありました。人は、皆、悩みや問題を抱え、自分自身に問いかけ、答えを見つけようと努力しますが、なかなか答えが見つからず、より悩む場合があります。人に相談したり気持ちを話したりすることによって、考えが整理され、解決の糸口を見つけられることがあります。また、友達から相談された時、答えを提示してあげられなくても、聞いてあげただけで勇気や希望を与えることができます。相談相手がいることは、大切なことです。だから、皆さんが他の人から相談を受けた時は、しっかり聞いてあげましょう。この相談週間では、生徒の皆さんが先生たちに相談することによって、これからの生活のヒントを見つけてほしいと思います。担任の先生はもちろんですが、それ以外にも多くの先生たちが皆さんを見守っています。何か困ったことや悩みがあった時は、誰にでも、いつでもよいですから相談してください。

さて、秋は「中秋の名月」と言うように月は明るく、夜は徐々に長くなります。また、暑すぎず、寒すぎずという気候のため、秋は「自分の好きなことを行う時間が作りやすい」季節でもあります。「スポーツの秋、学問の秋、読書の秋、芸術の秋」とも言います。2学期は、1年の中で授業日数が最も多く、今年は81日間です。夏休みが終わった今、さらにレベルをあげて学習・行事・部活動・趣味などに取り組んでください。目標は高くもって挑みましょう。



1年生は、中学校生活にも慣れ、2年生は学校の中心として、3年生は進路に向けて学校生活や学習に一段と力が入ってきます。自分が努力した分だけ伸びます。そして、一つの自信がさらに自分を大きく成長させてくれます。2学期の取組に際し、何事にも全力で臨んでください。

今年の中秋の名月は10月6日です。旧暦8月の十五夜の月です。地方では、イモや枝豆などの初物やススキの穂などを供え、収穫に感謝したり、豊作や健康を願う習慣があります。私も、生徒の皆さんの健康とたくさんの成果を願ってお祈りをしたいと思います。

1年生イングリッシュキャンプ 8月6日(水)～8日(金) in ベルデ軽井沢

4年目となった1年生のイングリッシュキャンプ。99名の参加でベルデ軽井沢に行ってきました。宿舎に到着後は、英語を使って生活しました。始めは緊張気味で静かだった生徒たちも、だんだんと身振り手振りも加わり、知っている単語とジェスチャーでコミュニケーションを楽しんでいました。普段と違う環境で英語のシャワーを浴びて、英語力の向上だけでなく、事前の準備や宿舎での諸活動を主体的に行うことで、ひと回りたくましくなって帰ってきました。



9月も2週目に入り、少しずつ学校生活も通常の形に落ち着いてきたところです。

されど、世の中に目を向けると様々なことが起こっています。各学年の廊下等に新聞が掲示してあります(手に取って読んでいただいても結構です。)が、皆さんはマスメディアの報道からどのような情報を得て、どのようなことを考えているのでしょうか。

先日、日本の石破茂首相が退陣の意向を表明し、新たな首相を選出する動きになっていることが新聞各紙一面で報道されていました。同じ日に新聞を読み進めていくと、「ウクライナの首都キーウには1000機ほどのドローンが飛来し、政府庁舎等を攻撃している」といった生々しい記事がありました。記事は活字なので、「1000」という数字で表現されていましたが、想像を膨らませてみてください。首都キーウでは、SF映画で地球外生物が地球を攻めてくるような光景が実際に起こっているわけです。5年前、ウクライナのどれほどの人がこのような光景を想像していたでしょうか。(これが現在の戦争の実際ともいえます。)

日本の政治が動くこの秋、新聞記事の世界だけでもよいので、世の中で起こっていることに触れる、起こっていることについて考えてほしいと思っています。自分が評論家になったつもりで、日本の政治について誰かと語るのも「〇〇の秋」にふさわしい時間と思います。

考えることは、人に与えられた平等な能力です。「中学生は子供だから考えても意味がない」ということはありません。これからの未来を拓く中学生だからこそ考えるべきではないでしょうか。

(副校長 志村 修)